

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390700207
事業所名	えくせれんと鶴舞

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で地域情報を得て行事に参加したり、日々の散歩や行きつけの喫茶店では地域の人々と挨拶や言葉を交わし、顔なじみの関係になっていた。新柄コロナ感染症予防の観点からこれらの外出やボランティア、隣の中学よりの職場体験の受け入れ、保育園園児とのハロウィン行事を通じての交流等がすべて実施不可能となってしまった。今後状況を見ながら面会制限の緩和、鶴舞公園での行事等の参加も選択肢に入れ地域との関係作りの復活を利用者本位に検討したいと考えている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、地域包括支援センター職員、家族、利用者等の参加を得て2カ月ごとに開催し、3月からは議事録を郵送している。依頼しているが町内会長の参加はない。事業所の状況や委員会、事故報告を行っている。議題のマンネリ化を感じ、目標達成計画に挙げた協力歯科による歯科口腔研修や協力医による医療ネットワークの説明を実施し、家族の継続的参加に繋がるよう努めている。意見交換の中でホームの考え方や努力を理解することができ、新型コロナウイルス対応について面会制限一部緩和の文書も添付している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価：4） 区担当者とは書類提出等での訪問時、情報交換したり、事故へのアドバイスをもらっている。地域包括支援センター職員とは運営推進会議の場や事例を豊富にもっているため日常的に相談や情報を交換しており、協力関係が構築されている。感染予防対策上、市主催の研修や講習会、事業所連絡会は開催されなかった。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族とは面会時や電話で意見や要望を聞き、内容を職員と話しあいケアや運営に反映させている。また、運営推進会議での意見交換でホームの考え方を説明し理解に繋がっている。広報委員会職員が毎月ホーム便りを作成しており、ホームの実情とともに契約時写真掲載許可を頂いている利用者の生活ぶりやお誕生日会、お食事の内容が分かる写真や新しく仲間になった職員が紹介されている。面会規制の折、家族は笑顔の写真を楽しみにしており、現状把握に役立っている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○